



パソコンの画面に映された親族や友人らと記念撮影をする新郎新婦＝高松市、玉藻公園披雲閣

「初めの試みだったが、2人に満足してもらえて安心した。新型コロナウイルスの影響で相当数の中止や延期が出ているが、感染予防対策を踏まえた結婚式の選択肢の一つを提案できたと思う」と語った。

新型コロナウイルスの感染拡大で、大勢が参列する行事の中止や延期が相次ぐ中、「3密」を避けるためビデオ会議アプリを使ったオンライン結婚式が3日、高松市の玉藻公園披雲閣であった。新郎新婦と両家の両親だけが出席。県内外の親族や友人ら約30人は自宅などからスマートフォンやパソコンの画面に「参列」し、ライブ映像を見守りながら2人の新たな門出を祝福した。

高松でオンライン結婚式

みんなが参加「涙が出た」

「テイル」(高松市)がビデオ会議アプリ「ZOOM」(スー)を使い、式に参列してもらおうと提案。会場は▽換気の徹底▽アルコール消毒液の設置▽スタッフは最低限の人数で

式を挙げたのは、三豊市の会社員三木一矢さん(27)と、高松市の保育士杉本真純さん(22)。2人は当初3月に挙式を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大で中止を考えていた。しかし、式を担当するブライダル企画の「フェアリ

画面越しに祝福

マスク着用などを条件に同公園と交渉し、特別に許可を得た。



発行所 四国新聞社
〒760-8572
高松市中野町15番1号
© 四国新聞社 2020年
読者相談 087-833-5552
(6日まで休めます。ご用の方は
下記御覧へ直接ご連絡ください)
電話 087-833局
報道部 1119 総務部 1114
運動部 1818 販売部 1124
生活部 1121 広告部 1145
事業室・文化教室 811-2300
みどりの日

きょうの紙面



画面越しに祝福

オンライン結婚式が高松市内であり、パソコンの画面越しに門出を祝福した。(12面で詳しく)